

2.2 設置計測器による連続観測(共通調査)

「共通調査連続観測」(15 昼夜観測、夏季: St. 2'・St. 2・St. 4、冬季: St. 2')を実施した。今年度は夏季(令和3年7月1日～15日)及び冬季(令和4年1月1日～15日)において、計測器を設置し連続観測を実施した。観測は海底面上10cmに「水温・塩分」、「流向・流速」、「波高」の計測器を、海底面上20cmに下向きに「蛍光光度・濁度」の計測器を設置した。

調査期間の降水量を図11、連続観測結果を図12～図15に示した。

夏季の観測結果では7/9以降に周期的な低塩分、高濁度が観測されていた。同様の現象は冬季の1/1～1/8にも観測された。これは大潮期の緑川の河川水が下げ潮時に観測されたと考えられた。特に夏季では7/8～7/11にかけての降雨によって河川水の流量が増加し、低塩分、高濁度を更に加速したと考えられた。また、夏季の7/3～7/8では沖の調査点のSt. 4で継続的に塩分が15付近まで低下している様子が見られたが、岸側のSt. 2ではこの出現が少なくなり、最も岸側のSt. 2'では出現しなかった。この現象は他の観測項目との関連性が見られず、特異的な現象と考えられた。

冬季の観測結果では1/11及び1/13に1/3有義波高で50cm程度の波が観測されており、荒天が窺われた。また、この1/11を境に水温及び塩分が低下しており、水塊の入れ替わりによるものと考えられた。

St. 2'の夏季と冬季を比較すると夏季に比べて冬季は、流速において大潮期は高く、小潮期は低い傾向が見られた。また、流向では冬季には西～北向きの流れが確認できず、夏季と異なる傾向を示した。冬季には周囲に海苔養殖施設が設置されており、この影響によると推測された。

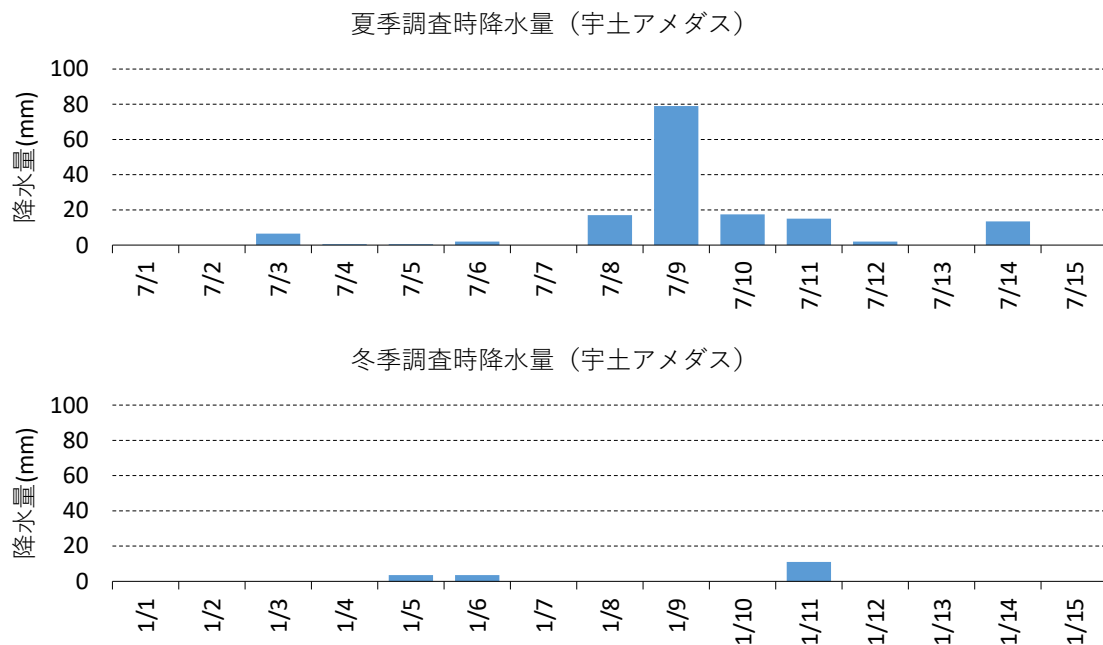


図 11 降水量

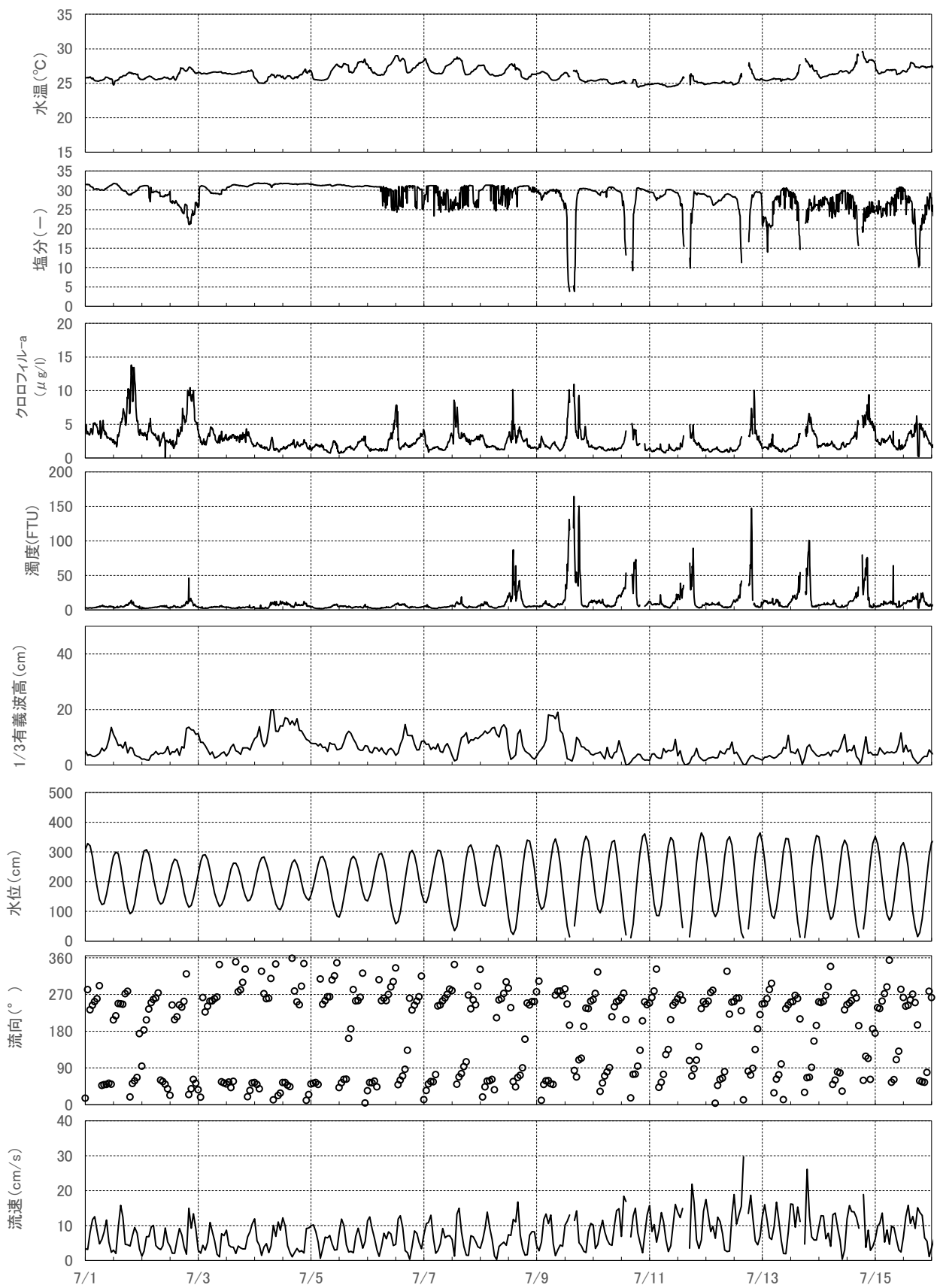


図 12 連続観測結果 (St. 2' 夏季)

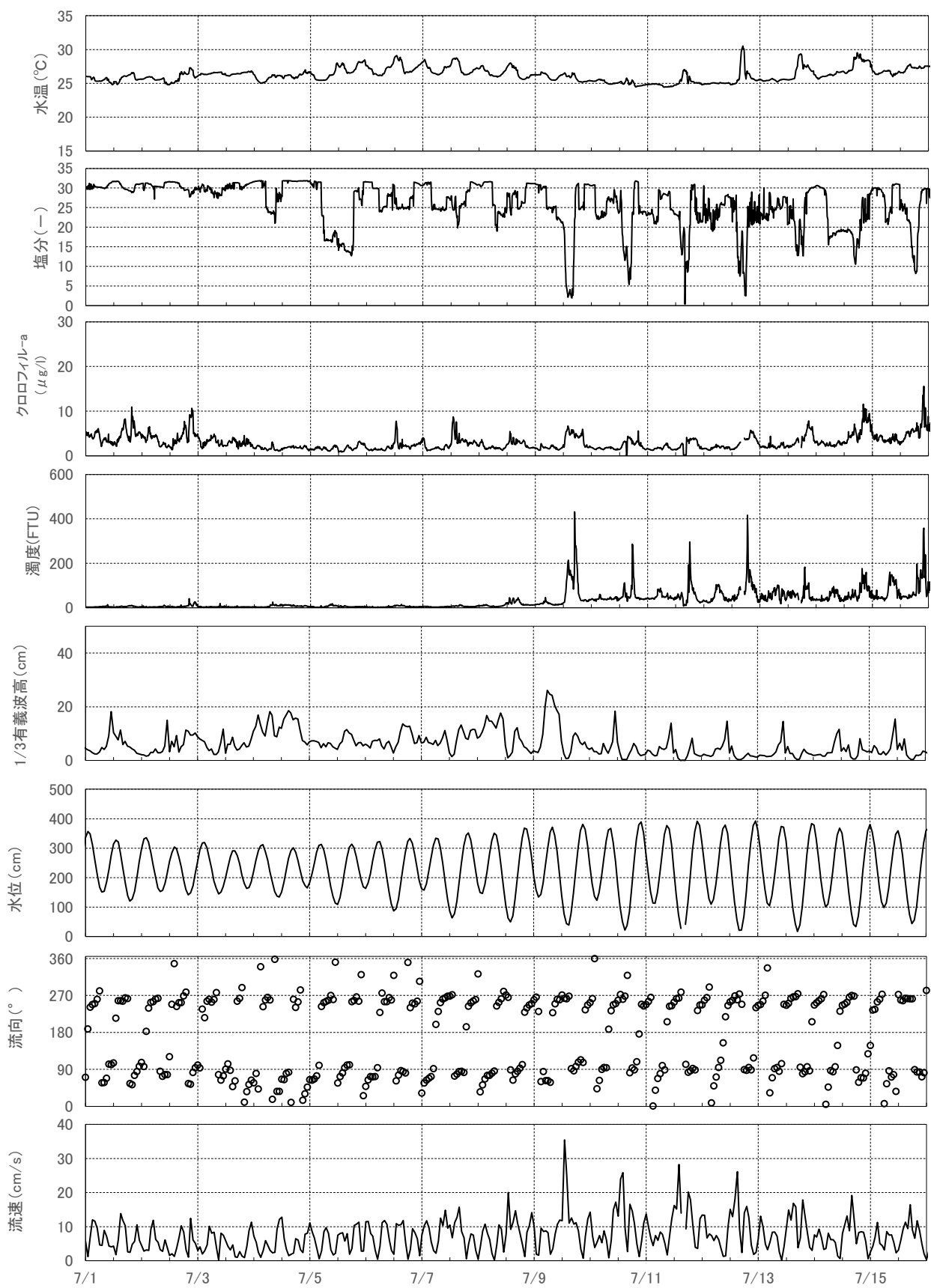


図 13 連続観測結果 (St. 2 夏季)

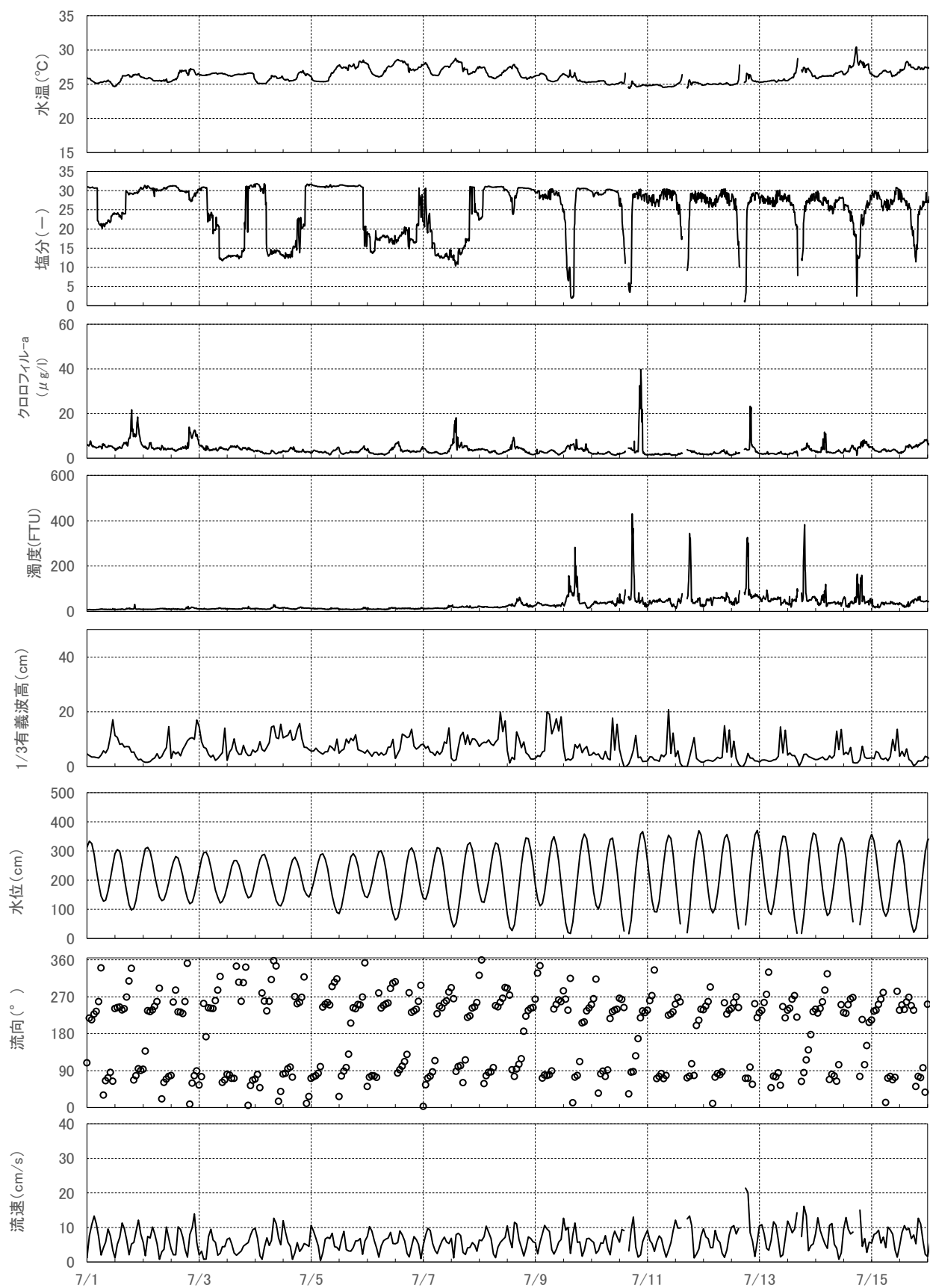


図 14 連続観測結果 (St. 4 夏季)

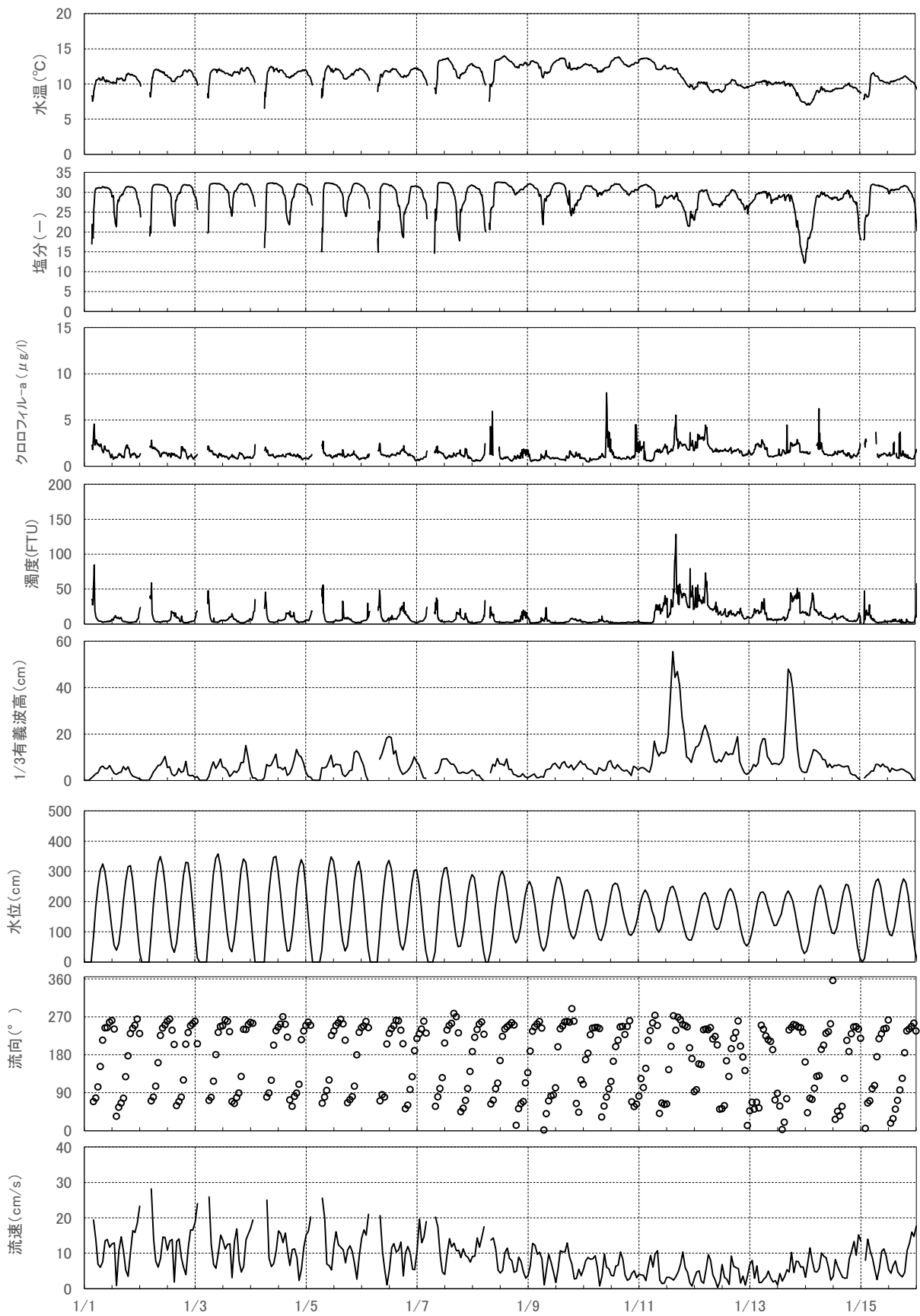


図 15 連続観測結果 (St. 2' 冬季)